# 被災地方言会話集

# ー　宮 城 県 石 巻 市　ー

# ＜自由会話＞

## 自由会話の概要

収録地点　　宮城県石巻市

収録日時　　2012（平成 24）年 7 月 8 日

収録場所　　宮城県石巻市湊町御所の入　松厳寺仮本堂

話題　　【震災のときのこと】

話者

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| A | 男 | 1938（昭和 13）年 | （収録時 74 歳） | ［Bの夫］ |
| B | 女 | 1943（昭和 18）年 | （収録時 68 歳） | ［Aの妻］ |
| C | 女 | 1935（昭和 10）年 | （収録時 77 歳） | ［A・B・Dの友人］ |
| D | 男 | 1957（昭和 32）年 | （収録時 55 歳） | ［A・B・Cの友人］ |

話者出身地

A　石巻市門脇（かどのわき）

B　石巻市湊（みなと）

C　岩手県一関市（いちのせきし）〔1〕

D　石巻市清水町（しみずちょう）

## 【震災のときのこと】

### 話し手

| | | | |
|---|---|---|---|
| A | 男 | 1938（昭和 13）年 | （収録時 74 歳） |
| B | 女 | 1943（昭和 18）年 | （収録時 68 歳） |
| C | 女 | 1935（昭和 10）年 | （収録時 77 歳） |
| D | 男 | 1957（昭和 32）年 | （収録時 55 歳） |

001Ｃ：ボランティアノ　ヒドニ　オ　チョクセツ　ワダシ　キーダンダケドッサ
ボランティアの　人に　×　直接　私　聞いたんだけどさ

（D　ウンウン）ドッカノ　ホゴノ（B　ウン）ホリッコトカ（B　ウン）
（D　うんうん）どこかの　そこの（B　うん）土掘りとか　（B　うん）

ゴミシロイ　シテヤンダト。（B　ウン）（D　ウン）
ゴミ拾い　してたんだと。（B　うん）（D　うん）

スタッケネ　ンメ　ダレニ　タノマエデ　シ　キテンノヤ　ヨゲナコド
そしたらね　お前　誰に　頼まれて　×　来てるんだ　余計なこと

スナッテ　（D　アー　アー　アー）ワダシ　オゴラエタヨッテ。
するなって（D　ああ　ああ　ああ）私　怒られたよって。

（B　ウン）（D　ウン）ホンデ　ナンカイ　キテンダヨッテ　コゴサ。
（B　うん）（D　うん）それで　何回［も］　来てるんだよって　ここに。

（B　ウン）（D　ウン）ソユッデ　ユッデダ　ヒド　イダヨー。
（B　うん）（D　うん）そう言って　言ってた　人　いたよ。

（B　ウーン）（D　ウン）
（B　うん）　（D　うん）

002Ａ：ナンデ　マダ　ソノ　ユッダ　ヒドモ　ユッダ（B　ウン）ヒドダッチャナヤ。
なんで　また　その　言った　人も　言った（B　うん）人だよな。

石巻市 自由会話

003Ｃ：ウン（Ｂ　ウン）ワタシワ　ソノヒトモ　　ワカッケッドモ、
うん（Ｂ　うん）私は　　その人[が誰か]も　わかるけども、

（Ｂ　ウン）（Ｄ　ウン）ソコマデワ　　イワナェケッドモサ。
（Ｂ　うん）（Ｄ　うん）[誰だと]そこまでは　言わないけれどさ。

（Ａ　ウン）（Ｂ　ウン）ンー　　ナンーダイ　セッカグネ。
（Ａ　うん）（Ｂ　うん）うーん　なんだよ　　せっかくね。

004Ａ：ヤ　　ボランティアノネ、（Ｃ　スギデ　キテンデ　　ネーンダヨー）
いや　ボランティアのね、（Ｃ　好きで　来てるんじゃ　ないんだよ）

（Ｂ　ウン）チカラワ　タイシタモンダ。（Ｃ　ウーン）ウン。
（Ｂ　うん）力は　　たいしたものだ。（Ｃ　うーん）うん。

ナンカイトナグネ　アノー（Ｂ　ソーダネー）ソッコーダ　アノ
何回となくね　　あのー（Ｂ　そうだねー）側溝だ　　あの

ウチノ　ナガノ（Ｂ　ウン）（Ｄ　ウーン）ヘドロヨケダーノナ、
家の　　中の　（Ｂ　うん）（Ｄ　うーん）ヘドロ除けだのな、

（Ｃ　ウーン　ナノニ）ヤッテモラッタケド、（Ｃ　クセーノモ　ネー）
（Ｃ　うーん　なのに）やってもらったけど、（Ｃ　臭いのも　　ね）

アノ　ダイガク゜ノ　ジョ　オ　オ　オバ　チョード　オタグ〔2〕ミタイナネー、
あの　大学の　　××　×　×　××　ちょうど　おたく　　みたいなね、

ワカイコカ゜（Ｃ　オネーチャンタズネー）カオ　ドロダラゲニ　シテネー、
若い子が　　（Ｃ　お姉ちゃんたちね）　　顔　　泥だらけに　　してねー、

ウデマグリシテ　カギアズメデダヨー、アセダグンナッテ　ホンド、
腕まくりして　　かき集めてだよ、　　汗だくになって　　ほんと、

ヤッケッテ　アレ　キテッチャ、ヤッケ｛笑｝アレガ　アセ　ト
ヤッケって　あれ　着てるよね、ヤッケ｛笑｝あれが　汗　　×

トーシテ、キョネンノ　ナツナンカ　コトサラ　ムシアツガッタカラ
通して、　去年の　　夏なんか　　ことさら　蒸し暑かったから

（B　アツガッタガラネー）ソンデネー、スィードー　ソノコロ
（B　暑かったからね）　　それでね、　水道　　その頃

マダ（B　ウン　ナイ）デネーンダヨナー。（B　ウン）〔3〕
まだ（B　うん　無い）出ないんだよな。　（B　うん）

（D　ウン、デナイス　　デナイス）
（D　うん、出ないです　出ないです）

005B：アト　ヨコ゜レタママ　カエッテッタッチャ（A　ウン　ソノマンマ　ホレ）
あと　汚れたまま　　帰ってったよね　　（A　うん　そのまま　ほら）

ミンナ　バスサ　ノッテ。
みんな　バスに　乗って。

006A：ヒガイリダガラ。　（D　ウーン　ソーデシタ）（B　ネ　ネ）
日帰りだから。　　（D　うーん　そうでした）（B　ね　ね）

ソノマンマネー（B　アラウトコ　ナクテ）　ヤッケダケ　ヌイデ
そのままねー　（B　洗うところ　なくて）　ヤッケだけ　脱いで

（B　ウン）バスニ　ノッデ（B　ウン）ホイデ　カエッテッタナー。
（B　うん）バスに　乗って（B　うん）それで　帰ってったなー。

007D：ソレモ（B　シレルナ）ヘドロダガラ　クサインダヨネー。（A　クサイーヨ）
それも（B　　）ヘドロだから　臭いんだよねー。　（A　臭いよ）

（B　ネーー）ウーン。
（B　ね　）　うん。

008A：ハスタデネガラネー。クササッタラ。
半端でないからねー。臭さったら。

009Ｂ：ヤッタ、ソノ　ソノママデ　カエッテッテ　ンダガラ　アノー　ツキ゜ノヒカナー
／／／、その　そのままで　帰ってって　だから　あの　次の日かな

アノー　シンブンニ（A　ウーン）ソシタラー　アノ　トーキョーノ　ホラ
あの　新聞に　（A　うん）　そしたら　あの　東京の　ほら

ニュースダッタノネ（A　ウーン）ソシタラ　アノー　スッカリ　モー　ミンナ
ニュースだったのね（A　うん）　そしたら　あの　すっかり　もう　みんな

ヨコ゜レテ（D　ウン）カエッテ（D　ウンウンウン）ドーロ　アルイテダ
汚れて　（D　うん）帰って　（D　うんうんうん）道路　歩いてた

オンナノコガ（D　アー）イタンダッテ（D　アー　アー　アー）。
女の子が　（D　ああ）いたんだって（D　ああ　ああ　ああ）

ナンデ　コノ　コン　コンナ　コンナグ　シテンダイッテ　（D　アー）
なんで　この　××　こんな　こんなふうに　してるんだいって（D　ああ）

キータンダッテ。｛戸を閉める音｝ソシタラ　ホラ　トーホグニ　イッデ
聞いたんだって。｛戸を閉める音｝そしたら　ほら　東北に　行って

（D　アー）ウーン　ヘドロオ（D　ウーン）コー
（D　ああ）うん　ヘドロを（D　うん）　こう

トッテキタンダヨッテ、　ビックリシタトカッテ、アサニ　ハヤグ
取って来たんだよって[言うので]、びっくりしたとかって、朝に　早く

ホラ（A　ウンウンウン）（D　ウンウン）バスデ　ツイテ　ホラ
ほら（A　うんうんうん）（D　うんうん）バスで　着いて　ほら

（A　アー　カイッテイッタ）ウン　ソノママノ　ジョータイデネ、
（A　ああ　帰っていった）　うん　[汚れた]そのままの　状態でね、

（A　オンナノコワナ　ウンウン）（C　ソーダネ）カエッテイタンダッテ　ウン。
（A　女の子はな　うんうん）（C　そうだね）帰って行ったんだって　うん。

石巻市 自由会話

010C：ンダガラネ　ワダシタジガ　イッショーケンメ　コーシテ　ボランティアニ
だからね　私たちが　一生懸命　こうして　ボランティアに

トーグカラ　キテ　スケラレル、（B　ウン）インザ　ムゴーノ　ヒトタツガネ
遠くから　来て　助けられる、（B　うん）いざ　向こうの　人たちがね

ソイグニ　ナッタラ　（B　ウン）イク゛ニイーガナト　オモウヨ。
そういうことに　なったら　（B　うん）行くことができるかなと　思うよ。

タスケサ（B　ウン）イク゛ノ　ヒトタツ　（A　ンマ）イッカナト、
助けに　（B　うん）行くの[＝という]　人たち　（A　まあ）いるかなと、

ソゴワ　オモウヨ。
そこは　思うよ。

011A：コノ　トシデワー　モー　イカ゛イネ。ニダガラ　ワゲー　ヒタジカ゛
この　年では、　もう　行けない。　だから　若い　人たちが

ソノ　カンカク　ン　カンジ　モッテカナートワナ。
その　感覚　×　感じ　持っているかなとは[思う]ね。

012C：ア　ワタシタチワ　イカ゛イネーヨ。{笑}ニダガラ　イマノ　ワゲ　ヒトタジワ
あ　私たちは　行かれないよ。　{笑}だから　今の　若い　人たちは

（B　ウーン）トンデ　イク゛カナート　オモウ。ウン
（B　うん）　飛んで　行くかなと　思う。　うん

ソゴ　オモウノ。（A　ウン）
そこ[＝若い人たちの感覚がある]思うの。　（A　うん）

013D：ナッテンジャナイスカ。　ダッテ　アノ　コトモダチガ　ジエータイ
なっているんじゃないですか。だって　あの　子どもたちが　自衛隊

ナリタイッテ　ヒトダジ　フエタガラー　（A　ウン）（B　ウーン）アレワ
なりたいって　人たち　増えたから　（A　うん）（B　うん）　あれは

カンシャノ（B　ソーダネ）アラワレナンデショ。（B　ウン）
感謝の　　（B　そうだね）表れなんでしょ。　　（B　うん）

014A：マタ　ジエータイッテバ（B　マーズ　ジエータイサンモ）ズエータイー、
また　自衛隊って言えば（B　まず　　自衛隊さんも）　　自衛隊、

タイシター　チカラ、ス　ネ。（B　アタ　アタマ　サカ゜ル。ウン）
たいした　　力、　　×　ね。（B　××　頭　　下がる。 うん）

015C：ウーン。
うん。

016A：アノ　アレモーー（B　ウーン）クニノ　タカラダナ、ジエータイ。
あの　あれも　　（B　うん）　国の　　宝だな、　　自衛隊。

（B　ンダネーー）
（B　そうだね）

017D：チョード　アノー　サンガツ　ジューイチニチニー（B　エー）ツナミニ
ちょうど　あのー　三月　　十一日に　　（B　ええ）津波に

ナッテガラー（B　エー）ンデス　ソレデ　モー　タダ　ミンナ　コー
なってから　（B　ええ）×××　それで　もう　ただ　みんな　こう

ドーロ　アルゲルヨーニ　ナッタラ　ジブントゴニ　アルイテカエッテ
道路　　歩けるように　　なったら　自分[の]所に　歩いて帰って

（B　エー）アト　コー　ムユービョーシャノヨーニ　タダ（B　ウン）
（B　エー）あと　こう　夢遊病者のように　　ただ（B　うん）

ゴミトガ　ダシテルダゲナンデスヨー。（A　ウンウンウンウン）
ゴミとか　出してるだけなんですよー。（A　うんうんうんうん）

（B　ソーナンダヨネ）メガ　イキテナインデスヨ。
（B　ソーナンダヨネ）目が　生きてないんですよ。

石巻市 自由会話

（A　ウンウンウンウン）（B　ウン）　ソ　ソレ　ヤッタトギニ　コンド
（A　うんうんうんうん）（B　うん）　×　それ　やった時に　今度

シガツノ　マタ　デカイヤズ　キテ（A　ウンウンウンウン）（B　ネ）
四月の　また　でかいやつ[＝地震]　きて（A　うんうんうんうん）（B　ね）

ホンデ　アレデー〔4〕モー、ワタシタジモ　リーダー、アノー
それで　あれで　もう、私たちも　リーダー、あの

トシヨリノ　リーダートモ　ハナシタンダゲド、
年寄りの　リーダーとも　話したんだけど、

モー　ダメダネッテ　（A　ウンウン）ナニヤッタッテッテ。（B　ウン）
もう　駄目だねって　（A　うんうん）何やったってって。　（B　うん）

{戸を閉める音}{舌打ち}モー　テー　ウテナイヨーニ
{戸を閉める音}{舌打ち}もう　手　打てないように

ナッテタラ　{笑}　アトー　ミンナ　ドロダシモ　ミンナ　シナグナッテ
なっていたら{笑}　あとは　みんな　泥出しも　みんな　しなくなって

イエニ　モドンナクナッデ。（B　ウンウンウン）（A　ウンウンウンウン）
家に　戻らなくなって。　（B　うんうんうん）（A　うんうんうんうん）

ソシタラ　ソゴニ　ボランティアガ　カケツケテクレテ（A　ソーソーソー
そしたら　そこに　ボランティアが　駆けつけてくれて（A　そうそうそう

アレデ）（B　ンーー）ミンナ　ドロカキシテ　モラッタンデスヨ。
あれで）（B　んー）　みんな　泥かきして　もらったんですよ。

アレデ　コー（B　ネーーー）ミンナデ　タチナオレタンデスヨ。
あれで　こう（B　ねえ）　みんなで　立ち直れたんですよ。

（B　ソーソーソー、ネ）（A　ハー）
（B　そうそうそう、ね）（A　はあ）

018C：ハンパデ　ネンダヨ　　アノ　ニオイネ。ドロ。
　　半端で　　ないんだよ　あの　においね。泥。

019B：イ　イッタン　ホントニ　ミンナ　ナゲ゜タ　ナゲ゜タシタモノネ。
　　×　いったん　本当に　　みんな　投げた　　投げ出したもんね。

020D：ウーン　アノ（B　ウン）シガツノ　ジシンデネ　モ　　カンゼンニ
　　うん　　あの（B　うん）四月の　　地震でね　　もう　完全に

　　（B　ウン　ソーソー）ヤラレマシタワ。（B　ソーソーソー）
　　（B　うん　そうそう）やられましたわ。（B　そうそうそう）

021A：ンデー　ン　ン　マズー（B　ウーン）　シ　シンサイーコ゜ノー（B　ウン）
　　それで　×　×　まず　（B　うん）　　×　震災後の　　（B　うん）

　　ガレキノ　ヤマッテー　ンー　　ミタゴト　ネーベゲントモ（D　ウンウン）〔5〕
　　がれきの　山って　　うーん　見たこと　ないだろうけど（D　うんうん）

　　ア　アー｛笑｝アリ　イッピギ　トーレナイカンジ。（B　ウーン）
　　×　××｛笑｝蟻　　一匹　　通れない感じ。　　（B　うん）

　　ドーロッテユー　ドーロ　ミナ。（B　ウーン）ソレガー（D　ウーーン）
　　道路っていう　　道路　　全部。（B　うん）　それが　（D　うん）

　　オーガダジューギ　ハイッテガラ（B　ウンウン）アレヨー　アレヨッテ
　　大型重機　　入ってから　（B　うんうん）あれよ　　あれよって

　　ユーマニ　ドーロガ　ネ（D　ウーン）カンツーシテ。（C　ウーン）
　　いう間に　道路が　　ね（D　うん）　貫通して。　　（C　うん）

　　ソレマデ　　ヤッパリー、トーカド　カガッタンデネベガ。
　　それまで[に]　やっぱり、　十日と　　かかったんでないだろうか。

022D：カカリ（A　ド）モット　ン　モット　マエデスネ。（C　モット
　　かかり（A　×）もっと　×　もっと　前ですね。　（C　もっと

石巻市 自由会話

カカッタナー）ワタシガ　ソノー　ミナトショーカ゜ッコーニ　トニカグー
かかったなあ）私が　その　湊小学校に　とにかく

アノ　クルマ、シャチューハクシテルー　レンチューノ（B　ウン）クイモノ
あの　車[で]、車中泊している　連中の　（B　うん）食い物

モッテコナキャナイガラー　（A　ウーウーンウーンウーン）ミナ
持ってこなければならないから　（A　うんうんうんうん）　みんな

ワガイノ　アズメテー　フダン　ジューゴフンデ　アルケットコロオ
若いのを　集めて　普段　十五分で　行ける所を

イチジカンハン　カカッタソダ。　（B　ウーン）ダッテ　ヤマ　ク
一時間半　かかったそうだ。（B　うん）　だって　山　×

（B　ヤマネーーー）（C　ヤマ）クルマ　コエデー（B　テユカ）
（B　山ねえ）　（C　山）　車[で]　越えて　（B　と言うか）

{笑}（A　ウンウンウンウン）（C　ソー）（B　ソーソーソー）
{笑}（A　うんうんうんうん）（C　そう）（B　そうそうそう）

ヤマ　コエデー　ヒトンチ　ノ　イエ〔6〕（A　ソーソーソーソー）
山　越えて　人　の　家　（A　そうそうそうそう）

（B　ソーソー）ゴメンネーッテ　ハイッテ　イッテー
（B　そうそう）ごめんねーって　入って　いって

（A　ウンウンウンウンウン）{笑}ソレデ　オーフグデ
（A　うんうんうんうんうん）{笑}それで　往復で[＝して]

（A　ソーダッタノガ）マタ　モッテクルモノガ　ミズダドガ{笑}
（A　そうだったのか）また　持ってくるものが　水だとか　{笑}

（A　ウーーン）オモイノバッカ　ナンデスヨ。{笑}
（A　うん）　重いのばかり　なんですよ。{笑}

023C：ンダガラ　キサノ（A　　）（B　ホント　ソーダネー）
だから　今朝の（A　　）（B　本当　そうだね）

クンレンデモッサ、　（A　ンー）（B　ウン）コノ　クサカヤマノ〔7〕
訓練でもさ、　（A　うん）（B　うん）この　草刈山の

ホノ　ヒトダズネ、（A　ウーン）（B　ウーン）コゴニ
方の　人たちね、　（A　うん）　（B　うん）　ここに

イッペチャッツッタッケ　アノー　マエニ　アルイダドゴ　ドゴ
居ようねって言ったから　あのー　前に　歩いた所　どこ

アルイダンダガ　モイッカイ　モベチャッテ、（A　ウーン）ウズノ　トゴ
歩いたんだか　もう一回　戻ろうよって、（A　うん）　うちの　所[を]

トーッテ　アンダエノ　トゴ｛笑｝トーッテ、｛笑｝コー　アゾゴサ
通って　あなたの家の　所　｛笑｝通って、　｛笑｝こう　あそこに

ヌゲデダンダヨ。（A　ウーン）（B　ハーーン）ンダガラ　ホラ、
抜けてたんだよ。（A　うん）　（B　はあ）　だから　ほら、

イザッツートキ　コゴ　イク゜ッチャートガッテ。（B　ソーソーソーソーソー）
いさという時　ここ　行くねとか言って。　（B　そうそうそうそうそう）

024D：アノ　ガッコ（C　マー）　イッテ　モラッテキテ　（B　ネ）
あの　学校　（C　まあ）　行って　[物資を]もらって来て（B　ね）

ソントギニ　トジューデ　アシ　イテートカッテ（A　ウーン）サワイデル
その時に　途中で　足　痛いとかって　（A　うん）　騒いでいる

オッサン　イルナト　オモッタラ（B　エ）　Xサンデスヨネ　ダガラ。
おじさん　いるなと　思ったら　（B　ええ）Xさんですよね　だから。

（A　ウーン）（B　アー　アー）クギ　フンダラシクテ。（A　アーーーー）
（A　うん）　（B　ああ　ああ）釘　踏んだらしくて。（A　ああ）

（B　アーー）（C　アーーー）ソーユーノバッカ　ナンデスヨネー、ミンナ。
（B　ああ）　（C　ああ）　そういうのばかり　なんですよね、　みんな。

（A　アー　ソーソー。オレモ　フンダ）（B　フーン）
（A　ああ　そうそう。俺も　踏んだ）（B　ふーん）

クギナンカ　フムノ　ミナ　アタリマエミタイデ。（B　フーン）
釘なんか　踏むの　みんな　当たり前みたいで。（B　ふーん）

025Ａ：フンズゲテ　スマッテサー、（D　エー、エー）アドー　ナン　カナズズ
踏んづけて　しまってさ、（D　ええ、ええ）あと　××　金づち

ネーガラ　トッカグ　アルモノデ（D　アー　アー）ハダエデ、（B　フーン）
無いから　とにかく　有るもので（D　ああ　ああ）叩いて、（B　ふーん）

026Ｄ：ハショーフーニ　キオツケテヨー　ナンテネ　コエ　カケナガラ
破傷風に　気をつけてよ　なんてね　声　かけながら

（A　ウーン　ウン）（B　ネ　ホダネ）　アルイテマシタカラ。
（A　うーん　うん）（B　ね　そうだね）歩いていましたから。

（C　クルマ　クルマ　クル）〔8〕
（C　車　車　来る）

027Ｂ：ホンダガラ　マイノ　ヒトノ　アレネ、コエ　カゲナガラダモノネ。
だから　前の　人の　あれね、声　かけながらだもんね。

（A　ウーン）（C　ウーン）
（A　うん）（C　うん）

028Ａ：ホンデヤ　アナ　アイター　ホノー　ナカ゛ク゛ツ　ハイデ　ハイキューブッシー、
それでね　穴　開いた　その　長靴　履いて　配給物資、

ハイキューデー　ナカ゛ク゛ツ　モラッタ　トギワ　ウレシガッタネァー。｛笑｝
配給で　長靴　もらった　時は　嬉しかったなぁ。｛笑｝

アンナ　ナカ゛ク゛ツ　バヤツリダオネァ。　{笑}オー。　ホイデ
あんな　長靴　　取り合いだもんなぁ。{笑}うん。　それで

モンスー〔9〕ツカ゛ウノ。{笑}アド　ミギダラ　ミギダケ、{笑}
文数　　違うの。　{笑}あと　右なら　右だけ、　{笑}

（D　ミギダケ）バヤツリ。{笑}ンー　ハナサネンダカラ。{笑}
（D　右だけ）　取り合い。{笑}うん　離さないんだから。{笑}

ヒッシダネ、　（D　ウーン）アントキワ。（B　ホダネー）
必死だね、　（D　うーん）あの時は。　（B　そうだね）

029D：アノ　ワーグマンニ〔10〕　ドロボー　ハイラレテ（A　アー）
あの　ワークマンに　　泥棒　　入られて　（A　ああ）

（B　ウン　アー）ヤッパリ　ゼンブ　ナグナッタッテ（A　アー）
（B　うん　ああ）やっぱり　全部　無くなったって（A　ああ）

（B　アー）ナカ゛グツトカー。（A　ウーン）（B　ヘー　エー）ハッパイ
（B　ああ）長靴とか。　（A　うん）　（B　へえ　ええ）やっぱり

カンガエデルゴドワ　イッショナンダナッテ　オモッタケド。（B　ンダネー）
考えていることは　一緒なんだなって　思ったけど。　（B　そうだね）

030A：イヤ　ダケド　アノ　ブッシワ　アリガタガッタド。シタキ゛ニシロ
いや　だけど　あの　物資は　ありがたかったぞ。下着にしろ

（B　ソウダネー）ナー。（B　ウーン）ウ　ウワッパリニシロサ。
（B　そうだね）　ねえ。（B　うん）　×　上着にしろさ。

031C：ホラ　アソゴマデ（B　ソーソーソー）イッタヨ、ブッシ　モライサ、
ほら　あそこまで（B　そうそうそう）行ったよ、物資　もらいに、

（A　ウーーン）ダイモンザギノ〔11〕アノ　アレ　パチンコヤノ　ドゴサ
（A　うーん）　大門崎の　　あの　あれ　パチンコ屋の　所に、

（A　アーアーアー）（B　アー）（D　アー）ジエータイノ　ヒトダズネー
（A　ああ）　　（B　ああ）（D　ああ）自衛隊の　　人たちね

（B　ネー）キテサー、（A　ウンウンウン）ソシテ　ヨゲナ　キシャ〔12〕
（B　ねえ）来てさ、　（A　うんうんうん）そして　余計な　もの

トライネンダ。　ヨゲナ　キシャ　トル　ヒトモ　インノ　ミデットネ。
取れないんだ。　余計な　もの　　取る　人も　　いるの　見てるとね。

（D　ウンウンウンウン）（B　ウン　ウン）コメダノッサ
（D　うんうんうんうん）（B　うん　うん）米だのさ

（D　ウン）（B　ウン）コッチサ　サキ゜デ　コッチサ　マダ　トッテ
（D　うん）（B　うん）こっちに　下げて　こっちに　また　取って

コッチワ　フタッコ　シテ　コヤッテ　（B　ウン）
こっちは　蓋を　　して　こうやって（B　うん）

フタズ　モッテク゜ヒトモ（A　ウンウンウン）インノヨ。（B　ウンウン）
二つ　　持って行く人も　（A　うんうんうん）いるのよ。（B　うんうん）

ンダケドモ　コノ　ジエータイノ　ヒトワ　コー　マッテ（A　アー）
だけども　　この　自衛隊の　　人は　　こう　回って（A　ああ）

ハイ　ハイッテネ（B　ウン）　ミンナ　ワタサエデ。
はい　はいってね（B　ウン）　みんな　渡されて。

032A：マズー　コノ　ハナシワネ　（B　ウン）（C　ツギネーヨネ）
まず　　この　話はね　　（B　うん）（C　尽きないよね）

ツギネーネ　コレ。｛笑｝ウン。
尽きないね　これ。｛笑｝うん。

# 宮城県石巻市方言会話集（自由会話）注記

〔１〕話者出身地

26 歳の頃に石巻に嫁いできた。出身地を離れて現在までの期間が長いため、一関方言と石巻方言が混ざっているおそれもあるが、本会話集においては他の話者とのはっきりとした違いは見られなかった。

〔２〕オタグ

ここは調査者に向かって話しかけており、直後にあるＣの「オネーチャンタズ」も調査者を指している。以下、〔３〕の注まで調査者に向かって話をしている。

〔３〕デネーンダヨナー

これは他の話者に向けて発話されたもので、これ以降に話者同士の会話へと戻っている。

〔４〕該当箇所の音声

「ホンデ　アレデー」という声に重なって「すいません」と言う調査者の声がはいっているが、会話に影響を与えていないことから文字にはそれを反映しなかった。

〔５〕ネーベンゲントモ

この表現は調査者に向かって話をしているものと解される。

〔６〕ヒトンチノイエ

この場合、ヒトンチは家庭などを指し、特に家屋を指すために「イエ」を付けていると解される。

〔７〕クサカヤマ

湊地区にある草刈山という地名。

〔８〕クルマ　クルマ　クル

この発話は前後文脈との関係が薄く、何か別の話題へ展開しようとしたものとも解されるが、これだけでは意図が通らない。さしあたって、聞こえたとおりにこのように掲載しておく。

〔９〕モンスー

靴や足袋のサイズのこと。

〔１０〕ワークマン

工場・土木現場向け用品店の店名。

〔１１〕ダイモンザキ

湊地区の大門崎という地名。

〔１２〕キシャ

人から受ける施しのこと。ここでは支援物資のことを指していると思われるので、さしあたって共通語訳は「もの」にしておいた。

# 宮城県石巻市方言会話集（自由会話）担当者

**収録担当者**　内間　早俊（東北大学大学院文学研究科博士後期課程３年）
黄　　川川（東北大学大学院文学研究科博士前期課程１年）
福井　　幸（東北大学文学部３年）

**文字化担当者**　内間　早俊（東北大学大学院文学研究科博士後期課程３年）
黄　　川川（東北大学大学院文学研究科博士前期課程１年）
福井　　幸（東北大学文学部３年）